



一般社団法人 青森県サッカー協会

## 公式記録用紙

マッチコミッショナー	主 審
太田 哲	菅原 陽平

大会名	JFA TOHOKU FOOTBALL ASSOCIATION 第63回東北高等学校サッカー選手権大会 兼令和3年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技東北地区予選 決勝戦	2021年(令和3年) 6月21日月曜日	13時10分 KICK OFF	競技時間	70分 延長20分 PK方式				
会場名	十和田市高森山総合運動公園球技場	天候	曇り	気温	21℃	風	弱風	状態	天然良芝 乾燥
マッチコミッショナー	太田 哲	副 審 1	田中 真輝	第4の審判員	成田 麗	観衆	0 人		
主 審	菅原 陽平	副 審 2	櫻田 愛美	記録担当者	福士 敬之				

尚 志 高 校	0	前半	1	4	常 盤 木 学 園 高 校
	0	後半	3		
FP 臍脂 臍脂 臍脂		延長前半			
GK 水色 水色 水色		延長後半			
		PK方式			kick off
					FP 緑 緑 緑
					GK 黄色 黄色 黄色

交代(OUT) No.	分	シュート				得点	学 年	選 手 名	番 号	位 置	番 号	選 手 名	学 年	得 点	シュート				交代(OUT) No.
		延後	延前	後半	前半										前半	後半	延前	延後	
						3	金木 杏	1	GK	GK	1	西川 佳那	3						
						3	早坂 瑠菜(Cap.)	4	DF	DF	3	高橋 明莉	3						65
	54					3	鈴木 萌生	5	DF	DF	4	木村 莉捺	3						
						2	内田 里奈	16	DF	DF	5	前田 郁美(Cap.)	3						
	70					2	山本 珠寿	19	DF	DF	19	葛西 彩	1	1	1				
						3	佐藤 寿奈	6	MF	MF	6	三浦 音愛	3						
						3	細川 暖彩	7	MF	MF	7	菊地 莉央	3	①	1				
						3	渡邊さくら	8	MF	MF	8	高塚 映奈	2	1	2				68
	41			1		3	伊藤 真緒	10	MF	FW	9	伊藤 璃胡	2	①	1	2			61
					2	2	今井 鈴那	18	MF	FW	10	中村 円香	3	①	2				
					2	2	大光 望結	17	FW	FW	11	佐藤まどか	3	①	2	1			54
10						1	大宮 愛乃	11	FW	FW	20	保原 ひな	2						11
5						2	黒澤 千星	20	FW	FW	13	安齋 美羽	3		1				9
19						3	星野 海美	15	DF	FW	18	竹内瀬戸香	2						3
											14	山田 彩葉	3		1				8

警告・退場				松本 克典			監督		監督		阿部 由晴			警告・退場			
分	警退	No.	氏名	理由	延長	後半	前半	チーム合計		前半	後半	延長	分	警退	No.	氏名	理由
					後半	前半	後半					前半					
						1	4	5	シュート	16	5	11					
						2	3	5	GK	6	5	1					
						1	1	2	CK	5	3	2					
						4	6	10	直接FK	4	0	4					
						2	1	3	間接FK	3	2	1					
						0	0	0	PK	0	0	0					

C1:反スポーツ C2:ラフプレー C3:異議 C4:繰り返しの違反 C5:遅延行為 C6:距離不足 C7:無許可入 C8:無許可去  
S1:著しく不正なプレー S2:乱暴な行為 S3:つば吐き S4:得点機会の阻止(他) S5:侮辱 CS:警告2回

得点経過	時間(分)	得点チーム	No.	得点者	No.	アシスト	得点状況(略号例:ドリブル~,ゴロ~,浮き球~,混戦x,ヘディングH,シュートS)
		35+1	常盤木学園	11	佐藤まどか		
	39	常盤木学園	9	伊藤 璃胡	10	中村 円香	0-2 10 ~ → 9 右足S
	50	常盤木学園	10	中村 円香	6	三浦 音愛	0-3 6 → 10 左足S
	66	常盤木学園	7	菊地 莉央			0-4 左CK 右足S

戦評者氏名 [ 島谷 仁寿 ] (フルネームを記入) 勤務先又は所属 [青森県立十和田工業高等学校]  
 決勝戦は福島県代表尚志高校と宮城県代表常盤木学園高校の対戦となった。尚志高校は1-4-4-2を採用し、FW⑦が深みを作り起点となり、両サイドMF⑦・⑩はFWと近い距離感を保ちコンビネーションで崩そうと試みる。また、両SBが幅と高さを取り、積極的に攻撃参加を行いゴールを目指す。一方、常盤木学園は1-4-1-4-1を採用し、FW⑩のポストプレーから突破力のある⑨・⑪のサイドに展開し、⑧がゴール前のスペースに飛び出しフィニッシュに関わる。両チームとも攻撃のコンセプトを前面に出した試合となった。試合序盤は中盤で激しい攻防が繰り返され、互角の戦いであったが、前半終了間際常盤木学園はCKから混戦を⑩が押し込み先制する。後半に入ると、尚志高校は背後でボールを引き出した⑦からアーリークロスからチャンスを作ったが、プレスの圧力を強めた常盤木学園が徐々にペースを握り、高い位置でボールを奪いショートカウンターで⑨が追加点を奪う。その後は、運動量が落ちずに連動してプレッシャーをかけ続け、良い守備から攻撃を繰り返した常盤木学園が追加点を重ね勝利した。

[試合時間] 前半 36:19(1:19) 後半 37:53(2:53) 試合所要時間 1:24:26